

株式会社トラスト
(証券コード:3347)

2010年3月期
第2四半期決算説明会



目次



1. 会社概要・沿革
2. J-netレンタリース(株)の子会社化について
3. 2010年3月期第2四半期 ハイライト
 - ・損益計算書
 - ・販売実績
 - ・貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書
 - ・施策実績
4. 2010年3月期 目標
 - ・施策目標
 - ・業績予想

1. 会社概要・沿革

会社概要・沿革



(1) 概要

会社名	株式会社トラスト		
英 訳 名	Trust Company Limited		
役 員	代表取締役社長	伊藤 誠英	
	取締役営業部長	横井 大樹郎	
	取締役管理部長	伊藤 和繁	
	常勤監査役	工藤 吉之助	
	社外監査役	柴田 和範	
	社外監査役	鹿倉 祐一	
本社所在地	愛知県名古屋市中区錦3丁目10番32号		
売 上 高	3,937百万円	(2009年3月期)	
従 業 員	45名	(2009年9月30日現在)	
資 本 金	1,349百万円	(2009年9月30日現在)	

(2) 沿革

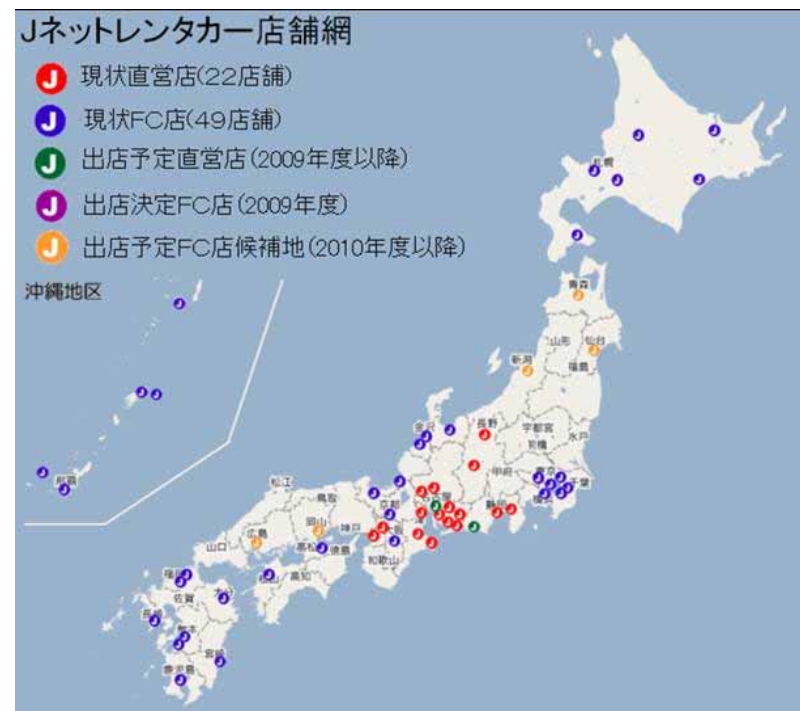
1988年12月	兵庫県尼崎市道意町において、株式会社トラストを資本金10百万円にて設立、中古自動車の輸出を開始。
1990年12月	名古屋市中区錦3丁目2番26号に本社を移転。
1996年08月	ウェブサイトによる中古自動車の輸出販売を開始。
1996年09月	中古自動車の在庫管理及び整備の効率化を図るため、名古屋港にストックヤードを新設。
1999年03月	販売台数の拡大に伴い、名古屋港に1,200台まで収容できるストックヤードを拡張。
2003年03月	株式会社ホンダベルノ東海(現・VTホールディングス株式会社)の子会社として、新体制で営業開始。
2003年08月	名古屋市中区錦3丁目10番32号に本社を移転。
2003年08月	販売台数の拡大に伴い、名古屋港に2,000台まで収容できるストックヤードを増設。
2004年02月	横浜港からの輸出を開始。
2004年11月	東京証券取引所マザーズ市場へ上場。
2005年11月	パナマ共和国に船舶保有を目的とした100%出資子会社AMANA SHIPHOLDING S.A.を設立。
2005年12月	ザンビア共和国ルサカ市に支店を開設。
2006年06月	ザンビア共和国ルサカ市に@ショップ1号店を開店。
2006年08月	米国に100%出資子会社TRUST AMERICAS INCORPORATEDを設立。
2007年03月	愛知県弥富市にストックヤード用地(約42,300㎡)を取得。
2009年01月	AMANA SHIPHOLDING S.A.を清算。
2009年10月	J-net レンタリース株式会社の株式を取得(子会社化)。

2 . J-netレンタリース(株)の子会社化について

会社及び株式取得の概要



会社概要		
名称		J-netレンタリース株式会社
所在地		名古屋市東区東桜一丁目5番7号
代表者名		代表取締役社長 山内 一郎
事業内容		レンタカー事業
設立		平成11年6月30日
資本金		60百万円
従業員数		300名 (アルバイト含む)
株式取得概要		
取得株数		940株
所有割合		50.95%
取得価額		272百万円
株式の取得日		平成21年10月1日



直営店	22店舗	
FC店	49店舗	
合計	71店舗	保有台数6,500台

業績推移



J-netレンタリース(株)

(百万円)

	2008年 3月期	売上比 構成比	2009年 3月期	売上比 構成比	2010年 3月期 (業績予想)	売上比 構成比	2010年 3月期2Q (実績)	通期 予想 進捗率
売上高	2,976	100.0%	2,867	100.0%	3,074	100.0%	1,550	50.4%
売上総利益	1,276	42.9%	1,305	45.5%	1,461	47.5%	735	50.3%
営業利益	373	12.5%	190	6.6%	340	11.1%	177	52.1%
経常利益	360	12.1%	166	5.8%	309	10.1%	162	52.4%
当期純利益	223	7.5%	86	3.0%	179	5.8%	94	52.5%
総資産	1,797	100.0%	4,545	100.0%				
純資産	335	18.7%	268	5.9%				

- ・2009年3月期については、事業拡大のための新規出店をした事により一時的に経費増加したが、2010年3月期以降は新規店舗の売上寄与により利益の拡大が見込める。
- ・2009年3月期の自己資本比率は、リース会計導入に伴い低下。
- ・2010年3月期2Qは、休日高速道路1,000円の影響により個人顧客の需要増加し、予想を上回るペースで推移。

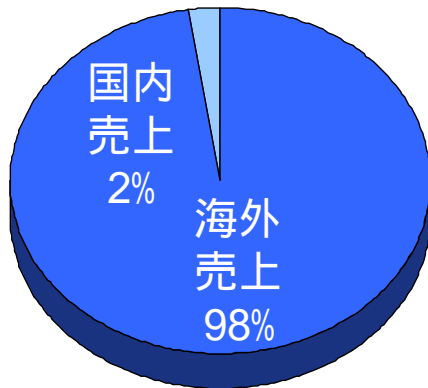
子会社化の効果



国内事業の強化

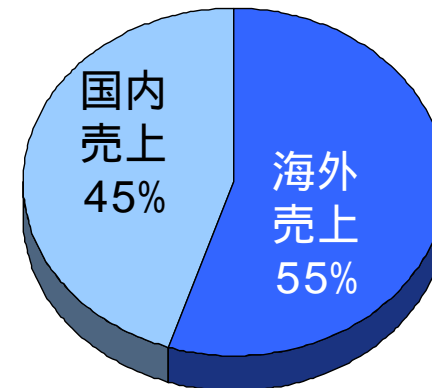
トラスト: 海外売上割合が90%超であり、為替、現地政治情勢の影響を受け、不安定な収益構造。
J-net: 国内レンタカー事業により安定的な収益構造。
子会社化により、外部環境の変化に対応できる体制を確立。

子会社化前



海外情勢の影響を大きく受ける

子会社化後



より安定的な収益構造

子会社化の効果

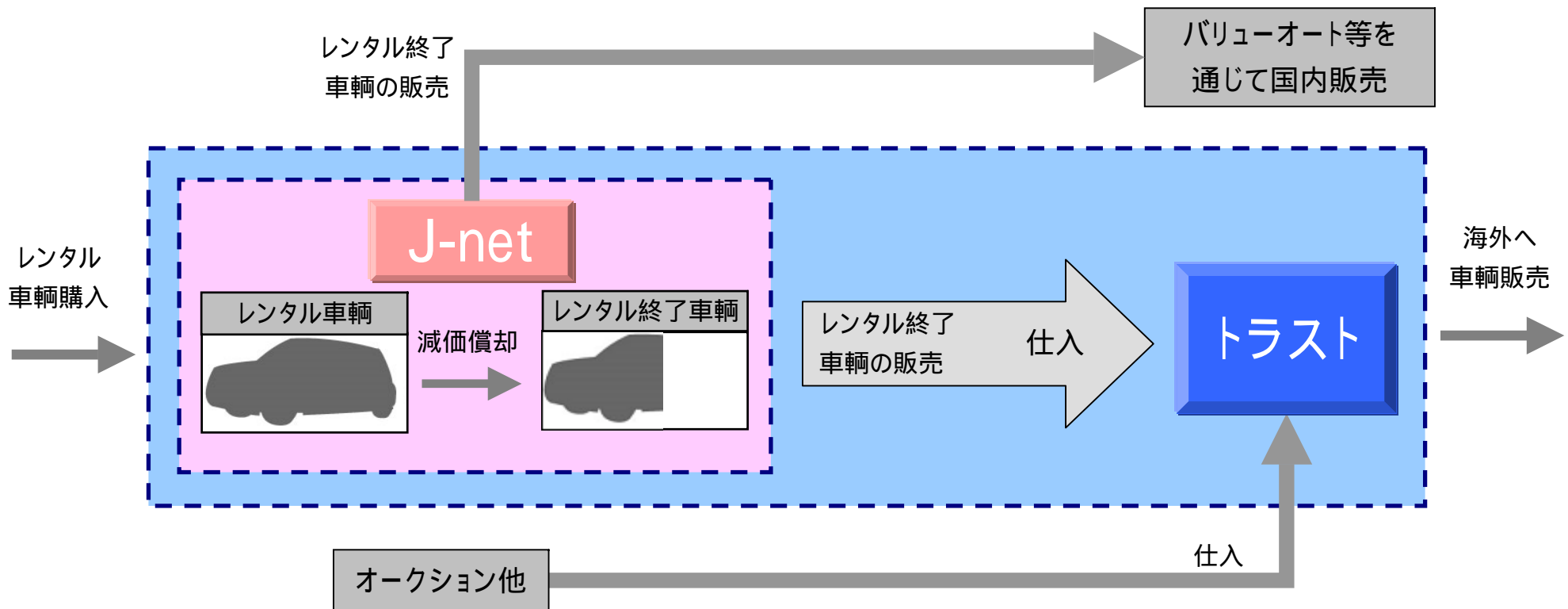


受託販売事業の強化

トラスト: 安定的な仕入先の確保が課題。

J-net: レンタル終了車輛(年間約500台)のより効率的な売却先の確保が課題。

効率的な販売・仕入体制を確立、さらに**収益性向上**。(当期見込み販売台数300台)



将来的な展望

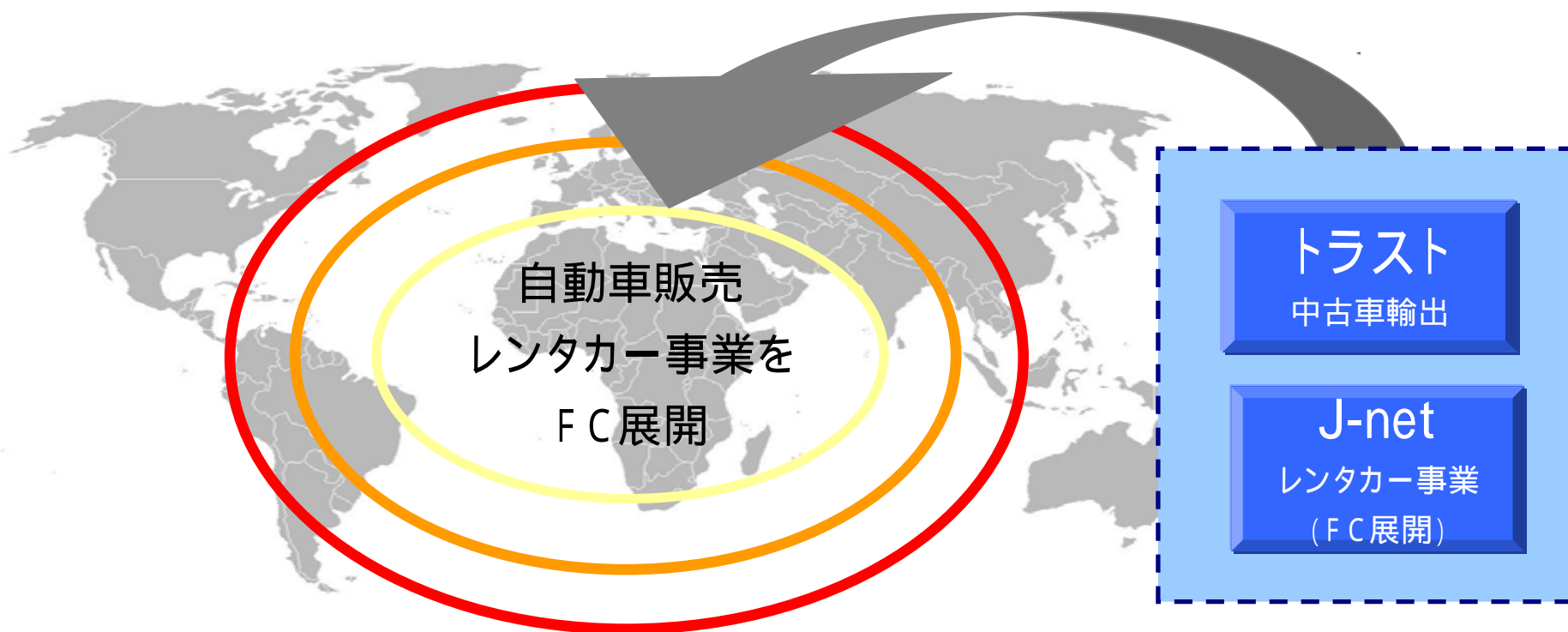


海外進出

トラスト: 海外事業のノウハウ

J-net: レンタカー事業、FCのノウハウ

両社のノウハウを融合し、海外において自動車販売・レンタカー事業をFC展開。



3. 2010年3月期第2四半期 ハイライト

損益計算書



(百万円)

	2009年3月期 2Q	売上比	2010年3月期 2Q	売上比	前年 同期比	2Q予想 達成率	通期 予想 進捗率
売上高	2,139	100.0%	1,638	100.0%	76.6%	87.5%	43.7%
売上原価	1,584	74.0%	1,214	74.1%	76.7%		
売上総利益	555	26.0%	424	25.9%	76.4%		
販売管理費	364	17.0%	334	20.4%	91.9%		
営業利益	191	8.9%	89	5.5%	46.8%	111.3%	54.2%
経常利益	232	10.9%	119	7.3%	51.3%	110.2%	53.8%
当期純利益	92	4.3%	72	4.4%	78.6%	107.5%	53.2%
配当金	100円		100円		100.0%		
販売台数	3,713台		3,655台		98.4%		
販売単価	576千円		448千円		77.8%		
平均為替レ-ト	106.16円		96.02円		90.4%		

ポイント

売上高：	金融危機・輸入規制等により景気悪化、その中でも当社は <u>販売台数維持(1.6%)</u> 。 金融危機以来、現地通貨安となり低価格車輛のニーズが高まり、販売単価下落。 円高の影響により販売単価下落。
営業外損益：	土地賃貸により受取地代を收受。 円高により米ドル建て金融資産に係る為替差損が発生。
当期純利益：	外部環境が悪化しているなか <u>利益を確保(利益率4.4%)</u> 。

販売実績



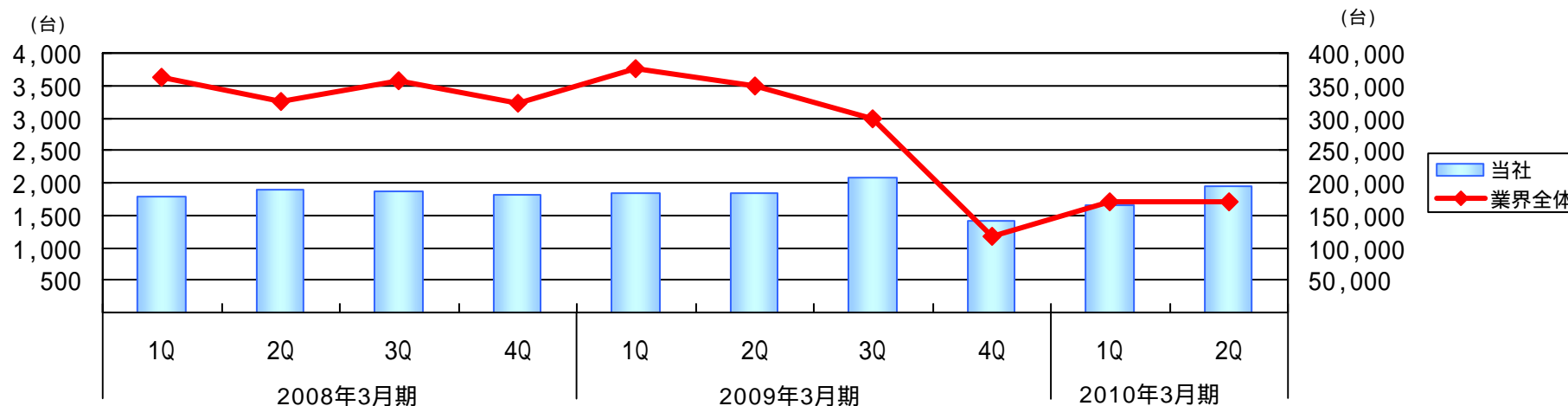
(百万円)

地域	2009年3月期2Q		2010年3月期2Q		台数 前期比
	台数	金額	台数	金額	
アフリカ	2,466台	1,484	2,214台	1,042	89.8%
北中南米	537台	288	399台	180	74.3%
オセアニア	332台	214	491台	239	147.9%
ヨーロッパ	298台	104	415台	95	139.3%
アジア	39台	35	77台	52	197.4%
国内	41台	11	59台	28	143.9%
合計	3,713台	2,139	3,655台	1,638	98.4%

ポイント

ロシアの関税引き上げ(2009年1月)によりヨーロッパ向け輸出台数が約1/10にまで減少。
 他の地域においては金融危機の影響で需要が一時減退したが、現在は復調傾向。
 業界全体では約1/2減少し、廃業が相次ぐ。
 当社は100カ国以上に輸出し、一国の規制変更、経済環境に影響されにくい販売体制を確立。

中古車輸出台数(日本中古車輸出業共同組合発表)



貸借対照表 / キャッシュ・フロー計算書



(百万円)

	2009年 3月期	構成比	2010年 3月期2Q	構成比	前期末 比
流動資産合計	1,419	34.8%	1,496	36.2%	105.4%
当座資産	754	18.5%	913	22.1%	121.1%
棚卸資産	346	8.5%	344	8.3%	99.4%
その他流動資産	317	7.8%	239	5.8%	75.4%
固定資産合計	2,659	65.2%	2,633	63.8%	99.0%
有形固定資産	2,224	54.5%	2,206	53.4%	99.2%
無形固定資産	44	1.1%	65	1.6%	147.7%
投資その他の資産	390	9.6%	362	8.8%	92.8%
資産合計	4,078	100.0%	4,130	100.0%	101.3%
流動負債	542	13.3%	634	15.4%	117.0%
固定負債	400	9.8%	300	7.3%	75.0%
負債合計	942	23.1%	934	22.6%	99.2%
純資産合計	3,136	76.9%	3,195	77.4%	101.9%

(百万円)

	2009年 3月期2Q	2010年 3月期2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	0	315
投資活動によるキャッシュ・フロー	311	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	130	133
現金及び現金同等物の増減額	439	172
現金及び現金同等物の期末残高	543	866

ポイント

借入返済等により純資産比率が上昇(+1.9pt)。
CFが大幅に改善(+611百万円)。

施策実績

商品ライン アップの充実

従来の仕入：オークション仕入、国内ディーラー仕入

流通量の少ない車種があり、現車を保有するため在庫保有リスクが発生

受託販売：国内ディーラー（高年式車種、大型車種、特殊車種等）

海外ディーラー（左ハンドル車種、SUV等）

車種情報をWEBへ掲載し、販売できた時点で現車を仕入

受託販売の強化により在庫保有リスクを軽減しつつ、ラインアップを充実

大型車種



左ハンドル車種



SUV



施策実績



企業展への 出展

主力販売先であるアフリカ地域・需要が旺盛なオセアニア地域で
開催された企業展に出展

当社の知名度が向上し、現地中古車ディーラー・個人顧客を新規開拓



施策実績



B2B販売の強化

売上高の90%以上がB2C販売
 現地での信用力を活かし現地中古車ディーラーを新規開拓
売上拡大及びマーケット情報の収集

	B2C販売		B2B販売
販売形態	個人顧客への小売	↔	大口顧客(現地中古車ディーラー等)への卸売
利益率	高い	↔	低い
在庫保有リスク	有	↔	<u>原則受注販売のため軽減</u>
営業効率	低い	↔	<u>高い</u>

4. 2010年3月期 目標

施策目標



WEBサイト
リニューアル

顧客が購入車輛の SHIPPING 状況（配送状況）の閲覧、車輛検索履歴の閲覧等の機能を追加

カスタマーサービスの向上を図る

ローカルネット
ワークの拡充

現地エージェントの新規開拓・取引強化

マーケット情報の収集、カスタマーサービスの向上を図る

パーツ販売
の強化

仕入ルート of 取引強化 商品ラインアップの充実を図る

販売ルート of 新規開拓・取引強化 売上拡大を図る

業績予想



連結通期業績予想(2009年9月7日公表)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期連結業績予想(2010年3月期)	5,234	340	364	177
前期連結実績(2009年3月期)				

2010年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成いたします。

右記数値は、トラスト個別通期業績予想にJ-netレンタリース(株)の2010年3月期下半期業績予想を加算し、連結取引及び少数株主損益を控除し、連結数値を算出しております。

【参考】

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結業績(2010年3月期)	6,744	530	525	221

両社の個別通期業績予想を連結した場合は、上記数値となり、来期以降は上記以上の業績を見込んでおります。

トラスト個別通期業績予想(2009年5月14日公表)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期個別業績予想(2010年3月期)	3,751	165	221	136
前期個別実績(2009年3月期)	3,937	256	314	113

この資料の内容には、当社及びJ-netレンタリース(株)の計画、予想、戦略などに関する将来の見通しを含んでおります。
見通しは現時点で入手可能な情報に基づき当社及びJ-netレンタリース(株)が判断したものであります。
実際の業績はさまざまな要因によりこれらの見通しは異なる可能性があります。

お問合せ先

情報開示担当者： 取締役管理部長 伊藤 和繁
I R 担当 吉田 智哉

I R サ イ ト： www.trust-ltd.co.jp

顧 客 サ イ ト： www.japanesevehicles.com

T E L： 052-219-9058

F A X： 052-219-9028

E - M A I L： ir@japanesevehicles.com